

くまもとアートポリス事業「宮城野区・みんなの家」への取組み

事業開始から今年で30年を迎えたくまもとアートポリス(KAP)事業では、毎年度初めに、コミッショナー(C)、アドバイザー(A)と事業の進め方等について会議(C&A会議)を開きます。2011年5月のC&A会議で、伊東豊雄Cから、東日本大震災の被災者に、精神的な安らぎを感じられる空間「みんなの家」を提供するプロジェクトの提案がありました。

事務局の建築課では、早速、蒲島知事に伺いを立て、5月末には、知事記者会見で、県内建築関係団体と連携してKAPの人材育成事業として取り組むことを表明いただきました。

一方、建設場所は、伊東Cが設計されたせんだいメディアテークの縁で、奥山恵美子前仙台市長からの紹介で仙台市宮城野区の仮設団地内(62戸)と決まりました。

併行して、県では、建築関係団体の皆さんと「みんなの家建設推進委員会」を立ち上げ、事業に向けた推進体制を整えていきました。建設費は、この委員会メンバーの負担金で賄うことになりました。

こうして「宮城野区・みんなの家」が県外初のKAP事業としてスタートしました。

設計は、伊東Cを中心に、仮設団地にお住いの被災者の皆さんと何度も話し合いの場を持たれ、すすめられました。当初、40㎡ほどという規模の小ささに困惑されていた被災者の皆さんも、徐々に自分たちの希望を話されるようになったとのこと。



結果、8月には、既存のプレハブの集会所と渡りローカでつながった木造平屋建て、切妻屋根の「みんなの家」(延床面積38.88㎡)の設計が完成し、9月13日には、起工式を執り行うことができました。

それと前後して、木材関係団体や球磨郡湯前町・水上村から熊本県産木材の提供と、い業関係団体から畳の提供の申し出がありました。提供いただいた木材は、熊本市内プレカット工場で加工し、建設推進委員会のメンバーや学生など約50名のボランティアに参加いただき、工場敷地内で仮組してその完成形を確認し、後日、関係



者出席のもと出発式を行い、仙台に輸送しました。

また湯前町でも出発式を行

い、地元産木材を名産の市房漬とともに仙台に向け発送しました。

9月26日の上棟式では、仮設団地の皆さんや関係者に参加いただき盛大にもち投げを行いました。

施工中には、熊

本から参加したボランティアの大工さんの指導のもと、九州や神奈川、東北の多くの大学生が、外壁の塗装や家具製作に参加され、10月26日に落成の日を迎えることができました。これも、KAPの人材育成事業として、多くの皆さんにご支援、ご協力いただいたおかげで、伊東Cの発案から半年という速さで完成することができました。

また、仮設団地の平山一男自治会長をはじめ多くの仮設団地の皆さんの積極的な参加、協力もありました。落成式の日、自治会の皆さんから芋煮会で歓迎いただき、完成したばかりの「みんなの家」で、夜が更けるのも忘れ、歓談したのが忘れられません。「みんなの家」の周りの花壇も自治会の皆さんの手作りです。

「宮城野区・みんなの家」は、2017年4月には、仮設団地に多くの方が住まれていた新浜地区に移築され、地域の集会所として活用されています。

熊本では、東日本大震災の翌年7月に発生した九州北部豪雨で被災した熊本県阿蘇市の木造仮設団地2カ所に、KAP事業で「阿蘇・みんなの家」が建設され、被災者の憩いの場として活用されました。これもまた、解体、移築され地域の集会所として活用されています。

さらに、2016年4月の熊本地震でも、20戸未満の小規模な仮設団地も含め、ほぼすべての仮設団地に、KAP事業として「みんなの家」95棟が建設されました。これが、仮設団地にお住いの皆さんの交流の場となり、県が復旧・復興の3原則の一つに掲げる「被災者の痛みの最小化」に貢献しているものと確信しています。

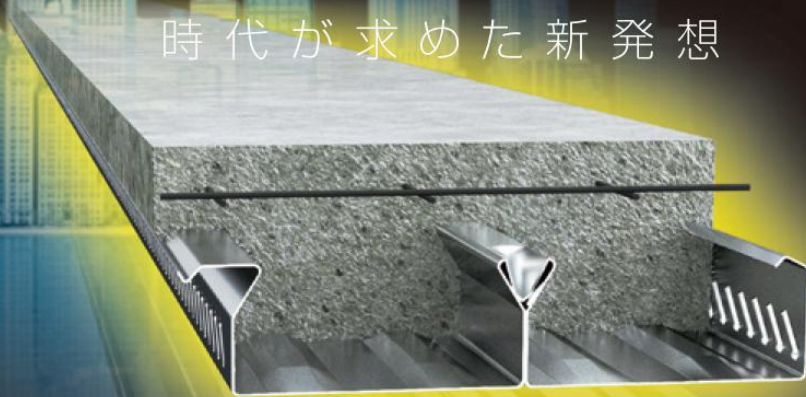
東日本大震災の被災者の心が少しでも安らげるような場所を提供して、東北支援の一つになればとの思いで取り組んだ「宮城野区・みんなの家」プロジェクトが、くしくも地元でも生かされることになっていることに、不思議な縁を感じずにはられません。

(一財)熊本建築構造評価センター専務理事 生田博隆



等厚合成スラブ

時代が求めた新発想



Cynos Deck



日鐵住金建材株式会社

<http://www.ns-kenzai.co.jp>

東北支店 建材・床営業室 TEL : 022-221-4572 FAX : 022-265-6553 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル

TRANSFORM THE WORLD.
DESIGN WITH VECTORWORKS.



SANTUÁRIO PAPA SÃO JOÃO PAULO II COURTESY OF CAIQUE NIEMEYER ARQUITETURA E DESIGN

VECTORWORKS 2018

TRANSFORM THE WORLD. DESIGN WITH VECTORWORKS.



Spotlight • Landmark • Designer • Architect • Fundamentals



全国主要建築関係・
パソコン専門誌・
ネットマガジンの
2018年度POC実務統計
編制対象期間: 2017年1月~12月

A&A エーアンドエー株式会社 <http://www.aanda.co.jp/>

木造 BIM ツール 無償ダウンロード
Vectorworks Design Blog <http://bim.aanda.co.jp/blog/>



屋根も壁も、横も縦も最先端のクロスデザイン!

屋根・壁兼用材 特許・意匠多数出願済み

元旦  ろす50

製造発売元



元旦ビューティ工業株式会社

東北支店/仙台市青葉区堤通雨宮町2-3 TEL (022) 728-3031



頑張ろう東日本! 復興応援企業

建物調査・保全計画・改修提案・設計・積算
新築・増築・改築・リニューアル 施工 建築一式工事

一級建築士事務所宮城県知事登録 第16X10181号
アクトユー字工房一級建築士事務所
建設業宮城県知事登録(般-29)第19324号
建築工事業 株式会社 アクト

株式会社 **アクト**

代表取締役 **岡本 宇京**

〒981-3212

仙台市泉区長命ヶ丘二丁目5番地の23

TEL 022-344-7204

FAX 022-777-7205

携帯 090-8788-1287

E-mail act-u@fork.ocn.ne.jp

 Beautiful

光触媒入り手すりのパイオニア



 **ワイエム工業株式会社**
仙台営業所

〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町3丁目13番22号
TEL 022-238-7782 FAX 022-238-7783
<http://www.ym-k.co.jp>

未来の景観創造力。



株式会社 **リョーワ**
代表取締役 佐藤 寛

〒982-0004

仙台市太白区東大野田21番1号

屋根・外壁 TEL 022-247-9161

責任施工 FAX 022-247-9162

Email: ryowa-net@nifty.com



日本高圧コンクリート株式会社

常務取締役

東北支社長

若山 幸博

〒980-0014

仙台市青葉区本町2丁目3番10号(仙台北町ビル)
TEL 022-262-6531 FAX 022-263-9736

URL <http://www.nihonkoatsu.co.jp/>

コンクリートパイル・コンクリートパネル・ヒューム管・フレキシブルその他
コンクリート製品の製造・販売並びに杭打工事・PC橋梁工事・
建築耐震補強工事及びその他関連工事の設計・施工・管理

 **セレス・レンダリング・プロ**

代表

畠山 知幸

〒981-8002

仙台市泉区南光台南二丁目17-15

TEL 022-251-3688 FAX 022-251-3723

E-mail: tom38mb@yahoo.co.jp

広告用・プレゼン用の建築・土木パース
の企画制作を行っております。

ご要望にあわせてご提案差し上げます。

赤レンガ工場見学 ～青年部主催研修会～



5月13日（日）青年部主催研修会に参加致しました。今回のテーマは赤レンガ工場見学他・・・です

まずはニッカウイスキー仙台工場です。昭和44年建築の赤レンガ工場 創業者の竹鶴政孝が新川の清流を見てブラックニッカの水割りを作った逸話は有名ですよ。そんなレンガ造り工場見学を致しました。当然の事ながら建築年数もかなり経過して



おり建物内部はH型鋼で補強してあり、当時の技術の粋を集めた素晴らしい建築物で感動致しました。

最後にウイスキーの試飲が出来き、ロックか、サイダー割とお好みで頂けます。竹鶴の17年物もあり、気に入ってしまって、いつまでも香りに酔っていました。

そして山形県天童市方面へ。縁結びのお寺としても有名な国重要文化財（若松観音）でお参りして天童市で美味しいお蕎麦で有名な又右エ門そばで昼食です。最後は松田さんの実家にある蔵（隣接している）100年位前に建てた物を見学また、実家の前にある本家は300年位経過している建物を見学し松田さん実家裏山で竹の子採り、またお母さんの手料理（漬物など）を頂きました。本当に美味しかったですよ。大変ありがとうございました。



一日中を通して歴史的建造物を堪能でき、また大変充実した研修会になったと思います。

今回の企画に関係していた皆様には深く感謝致します。

(Written by 加藤常男)

